

多世代共生型施設整備事業のあらまし

現状と課題

市直営

児童発達支援事業所
療育センター



利用人数
30人程度

昭和50年新築
平成14年増築

桑名市社協
に業務委託

母子生活支援施設

山崎苑跡地

利用人数 6世帯程度

山崎乳児保育所 市直営



利用人数
100人程度

昭和48年新築
昭和54年増築

養護老人ホーム
清風園

利用人数
45人程度



昭和59年新築

桑名市社協
に業務委託

課題

- ・ 老朽化……築年数の経過、耐震等の対応
- ・ アクセス……狭い乗り入れ口
- ・ 防災面……津波・浸水対策

～新しい福祉のかたち～

多世代共生型施設の事業構想

これまでの高齢者・障害者・子どもといった対象者ごとのサービス提供ではなく、多世代交流・多機能型の福祉拠点において、利用者の交流が促進され、コミュニケーションの拠点となり、**地域共生社会**の実現を目指す。



- ◆養護老人ホーム
- ◆児童発達支援事業所
- ◆保育所
- ◆母子生活支援施設

+

事業者の提案による
福祉事業又は機能

公民連携の推進

- ・施設の整備・運営について、事業者から提案を募集、審査し、実施事業者を選定する。
- ・選定された事業者は、施設の整備・運営を行う。

公的な関与について

- ・ **療育センター**

基準よりも手厚い人員配置をしている現状のサービス水準を維持するため、市職員の派遣、もしくは相当する費用の負担が可能

- ・ **保育所**

園児の保育環境の急激な変化を緩和するため、市職員の派遣が可能

選定事業者

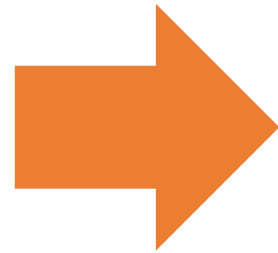
社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会

大和リース株式会社

最有力候補地

当初の予定地

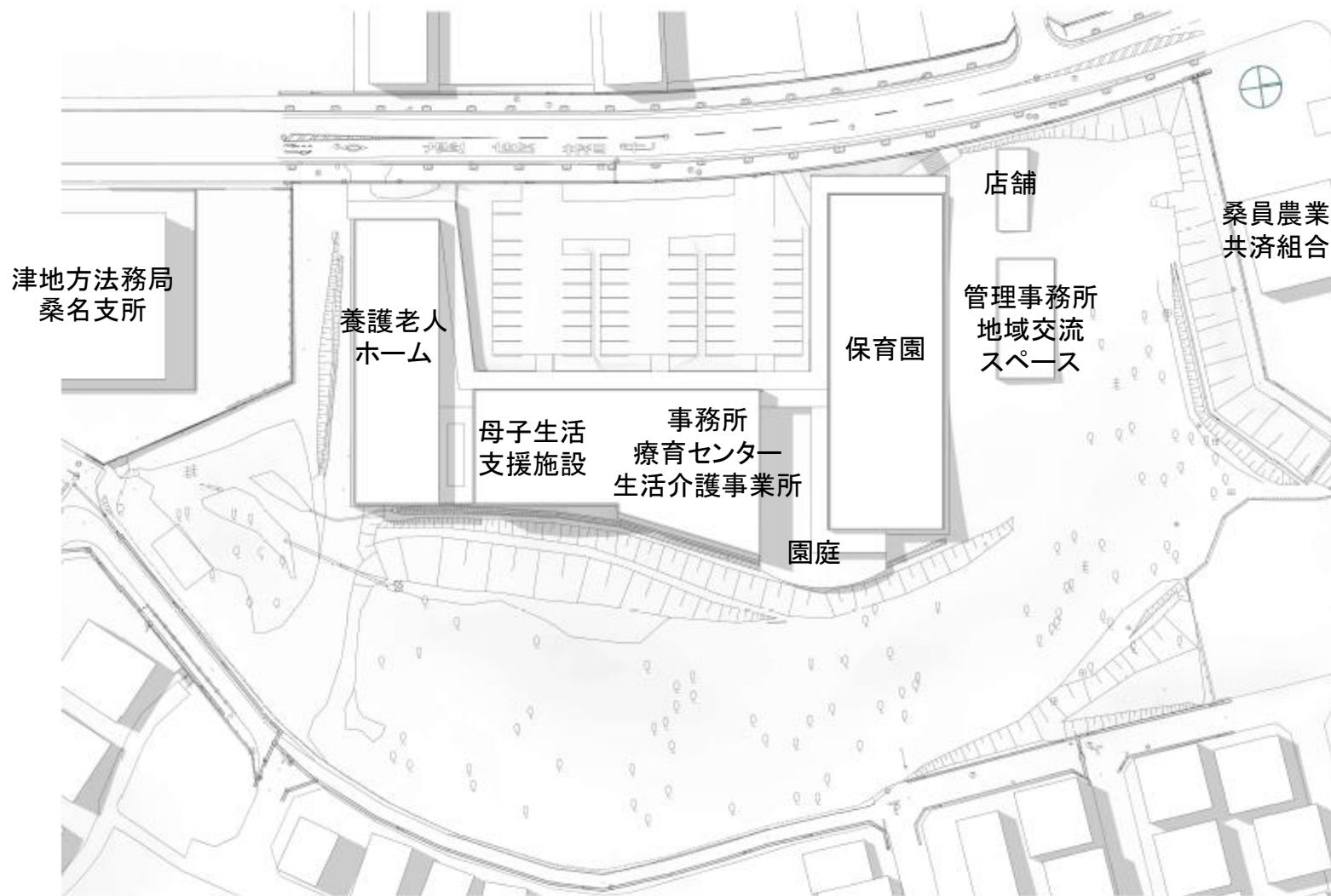
伝馬公園



変更



配置イメージ



事業者提案 プラスアルファの機能

- ・ 公園との一体感のある多世代共生型施設の整備
- ・ 地域交流スペース
- ・ 店舗
- ・ 管理事務所に障害者就労継続支援 B 型事務所の作業所の機能
- ・ 生活介護事業所（定員 20人）

※ 本配置図はイメージであり、確定したものではありません。

今後の流れ（予定）

- 令和元年度 事業予定地の確定
選定事業者との基本協定締結
- 令和2年度 実施設計（事業者）
公園部分の整備工事
- 令和3年度 現在の施設での事業移管
（市→社協、土地・建物は市から貸付）
多世代共生型施設の整備工事
- 令和4年度 多世代共生型施設運営開始